(様式第33号) (第64条関係)

(第1面)

产業	<b>痉棄物</b>	加理	計画書
/+. <del>/</del>	JH 34210J	V-7-	

2023 年 6 月 21 日

(宛先) 長野市長 様

提出者

住 所 新潟県新潟市中央区東万代町1-22 氏 名 株式会社安藤・間 北陸支店

執行役員支店長 清水公

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号

025-243-5578

産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画について、長野市廃棄物の適正な処理の確保に関する 条例第79条第1項の規定により提出します。

 事業場の所在地新潟県新潟市中央区東万代町1-22風間ビル

 計画期間令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

 当該事業場において現に行っている事業に関する事項

 ①事業の種類総合工事業

 ②事業の規模160億円

 ③従業員数120人

 ④産業廃棄物の一連の処理工程別紙2の通り

É廃棄物 <i>₫</i>	排出の	が制に	関する	事項					
	_	年度(令		4年度)実施がれき類(コンク	責】   ガラス・コンク	┃ 廃プラスチック ┃	金属くず	建設混合廃棄物	<b>「綿</b> 含有産
	産業	廃棄物の	種類	リがら、廃アス	リート・陶磁器く	(廃タイヤ、発泡		(安定型、管理	棄物
	排	出	量	485. 49t	51.30t	23. 96t	88.51t	72.06t	1. 861
	産業	廃棄物の	種類	紙くず	木くず	廃石膏ボード			
①現状	排	出	量	3.26t	8.41t	83. 65t			
	産業	標】 廃棄物の	種類	がれき類(コンク リがら、廃アス	ガラス・コンクリート・陶磁器く	廃プラスチック (廃タイヤ、発泡	金属くず	建設混合廃棄物(安定型、管理	5綿含有産 棄物
	産業	廃棄物の	種類				金属くず		
	排	出	量	200.00t	20.00t	10.00t	40.00t	30.00t	1. 00 t
	<del> </del>	廃棄物の	種類	紙くず	木くず	廃石膏ボード	0	0	0
	<b>産</b> 兼								
②計画	排	出後宝施す	量 -スチ	3.00t 定の取組)	4. 00t	20. 00t			
②計画	排 (今 <sup>2</sup> 分別) 梱包 <sup>2</sup>	後実施す 用BOXな。 材の低減	「る予 どの動 など	定の取組) を備による建詞 、廃棄物の発	<b></b>	 物の分別徹底 る施工方法の	采用		
②計画 注廃棄物 <i>0</i>	排 (今)分別。 作業)	後実施す 用BOXな。 材の低減 所の「環	「る予 どの整 対など 対境行	定の取組) を備による建意 、廃棄物の発 動実施計画書	 受系産業廃棄物 生抑制に資す	勿の分別徹底 る施工方法の持 負荷の低減	采用		

ら行う産業	   旋棄物の再生利用に関する事項		э ш /										
り11 7 圧末	【前年度(令和年度)実績】												
	産業廃棄物の種類	がれき類(コンク リがら、廃アス	ガラス・コンク リート・陶磁器く	廃プラスチック (廃タイヤ、発泡	金属くず	建設混合廃棄物(安定型、管理	石綿含有産 廃棄物						
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0.00t	10	•									
	 産業廃棄物の種類	紙くず	木くず	廃石膏ボード	0	0	0						
①現状	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量												
	(これまでに実施した取組)												
	実施していない												
	【目標】												
	産業廃棄物の種類	がれき類(コンク リがら、廃アス	ガラス・コンクリート・陶磁器く	廃プラスチック (廃タイヤ、発泡	金属くず	建設混合廃棄物(安定型、管理	石綿含有産業 廃棄物						
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量												
	産業廃棄物の種類	紙くず	木くず	廃石膏ボード	0	0	0						
②計画	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量												
	(今後実施する予定の取組)												
	実施していない												
ら行う産業	度廃棄物の中間処理に関する事項 「よくなっ」 (1) (2) (2) (3) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4												
	【前年度(令和 年度)実績】 産業廃棄物の種類	がれき類(コンク	ガラス・コンク	廃プラスチック	金属くず	建設混合廃棄	石綿含有産業						
		リがら、廃アス	リート・陶磁器く	(廃タイヤ、発泡		物(安定型、管理	廃棄物						
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量												
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量												
	産業廃棄物の種類	紙くず	木くず	廃石膏ボード	0	0	0						
①現状	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量												
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量												
	(これまでに実施した取組)												
	実施していない												
	【目標】												
	産業廃棄物の種類	がれき類(コンクリがら、廃アス	ガラス・コンク リート・陶磁器く	廃プラスチック (廃タイヤ、発泡	金属くず	建設混合廃棄物(安定型、管理	石綿含有産業 廃棄物						
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量		18,			Trais.							
	自ら中間処理により減量する												
			木くず	廃石膏ボード	0	0	0						
②計画	自ら中間処理により減量する 産 業 廃 棄 物 の 量	紙くず	木くず	廃石膏ボード	0	0	0						
②計画	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量産業廃棄物の種類	紙くず	木くず	廃石膏ボード	0	0	0						
②計画	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量 産業廃棄物の種類 自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	紙くず	木くず	廃石膏ボード	0	0	0						

	産業廃棄物の種類	がれき類(コンク リがら、廃アス	ガラス・コンク   リート・陶磁器く	│ 廃プラスチック │ │(廃タイヤ、発泡 │	金属くず	建設混合廃棄物 (安定型、管理	白稀宮有座第 棄物
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を 行った産業廃棄物の	-	T PP NAA 111 V	()67 1 ( )675		(XXXX)	*13
	産業廃棄物の種類	紙くず	木くず	廃石膏ボード	0	0	0
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量						
①現状	(これまでに実施した取組) 実施していない	3					
	【目標】						
	産業廃棄物の種類	がれき類(コンク リがら、廃アス	ガラス・コンクリート・陶磁器く	廃プラスチック (廃タイヤ、発泡	金属くず	建設混合廃棄物 (安定型、管理	石綿含有産業 棄物
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う 産業 廃棄物 の量						
	産業廃棄物の種類	紙くず	木くず	廃石膏ボード	0	0	0
031 <b>-</b> 7	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量						
②計画	(今後実施する予定の取組) 実施していない	3					
노호·호·Han O hi	11冊のそぞ)ヶ間より 東西						
芝廃棄物の欠	D理の委託に関する事項 【前年度(令和 4 年度)実績】	がれき類(コンク	<b>・</b> ガラス・コンク	摩ブラスチック	金属くず	建設混合廢棄物	石綿会有産電
<b>炎廃棄物</b> の処	1	がれき類(コンク リがら、廃アス ファルト レンガ	ガラス・コンク リート・陶磁器く ず(石膏ボード会	廃プラスチック (廃タイヤ、発泡 スチロール全	金属くず	建設混合廃棄物 (安定型、管理 刑)	石綿含有産 <sup>3</sup> 棄物
を廃棄物の処	【前年度(令和 4 年度)実績】	リがら、廃アス	リート・陶磁器く	(廃タイヤ、発泡	金属 <b>〈ず</b> 88.51t	(安定型、管理	
<b>を廃棄物の</b> 処	【前年度(令和 4 年度)実績】 産業廃棄物の種類	リがら、廃アス ファルト レンガ 485. 49t	リート・陶磁器く ず(石膏ボード会	(廃タイヤ、発泡 スチロール会		(安定型、管理型)	棄物
を廃棄物の欠	【前年度(令和 4 年度) 実績】 産業廃棄物の種類 全処理委託量	リがら、廃アス ファルト レンガ 485. 49t	リート・陶磁器く ず(石膏ボード会 51.30t	(廃タイヤ、発泡 スチロール会 23.96t	88. 51t	(安定型、管理 型) 72.06t	<b>棄物</b> 1.86t
美廃棄物の欠	【前年度(令和 4 年度)実績】 産業廃棄物の種類 全処理委託量 優良認定処理業者への処理委託量	リがら、廃アス ファルト レンガ 485. 49t 70. 21t	リート・陶磁器く ず(石膏ボード会 51.30t	(廃タイヤ、発泡 スチロール会 23.96t	88. 51t	(安定型、管理 型) 72.06t	<b>棄物</b> 1.86t
<b>美廃棄物の</b> 处	【前年度(令和 4 年度)実績】 産業廃棄物の種類 全処理委託量 優良認定処理業者への処理委託』 再生利用業者への処理委託』	リがら、廃アス ファルト レンガ 485. 49t 70. 21t	リート・陶磁器く ず(石膏ボード会 51.30t	(廃タイヤ、発泡 スチロール会 23.96t	88. 51t	(安定型、管理 型) 72.06t	<b>棄物</b> 1.86t
美廃棄物の欠	【前年度(令和 4 年度)実績】 産業廃棄物の種類 全処理委託量 優良認定処理業者への処理委託量 再生利用業者への処理委託量 認定熱回収業者への処理委託量 認定熱回収業者への処理委託量	リがら、廃アス ファルト レンガ 485. 49t 70. 21t	リート・陶磁器く ず(石膏ボード会 51.30t	(廃タイヤ、発泡 スチロール会 23.96t	88. 51t	(安定型、管理 型) 72.06t	<b>棄物</b> 1.86t
	【前年度(令和 4 年度)実績】 産業廃棄物の種類 全処理委託量 優良認定処理業者への処理委託量 再生利用業者への処理委託量 認定熱回収業者への処理委託量 認定熱回収業者以外の熱回収を 行う業者へ処理委託量	リがら、廃アス ファルト レンガ 485. 49t 70. 21t	リート・陶磁器く ず(石膏ボード含 51.30t 51.30t	(廃タイヤ、発泡 スチロール会 23.96t 21.46t	88. 51t 88. 51t	(安定型、管理 72.06t 72.06t	<b>棄物</b> 1.86t 0.00t
	【前年度(令和 4 年度)実績】  産業廃棄物の種類 全処理委託量  優良認定処理業者への処理委託量  再生利用業者への処理委託量  認定熱回収業者への処理委託量  認定熱回収業者への処理委託量  認定熱回収業者への処理委託量  を禁磨棄物の種類	リがら、廃アス ファルト レンガ 485. 49t 70. 21t 量 紙<ず 3. 26t	リート・陶磁器く ず(石膏ボード会 51.30t 51.30t	(廃タイヤ、発泡 スチロール会 23.96t 21.46t	88. 51t 88. 51t	(安定型、管理 72.06t 72.06t	棄物 1.86t 0.00t
	【前年度(令和 4 年度)実績】  産業廃棄物の種類 全処理委託量  優良認定処理業者への処理委託量  再生利用業者への処理委託量 認定熱回収業者への処理委託量 認定熱回収業者への処理委託量 認定熱回収業者以外の熱回収を表記を表記を表記を表記を表記を表記を表記を表記を表記を表記を表記を表記を表記を	リがら、廃アス ファルト レンガ 485. 49t 70. 21t 量 紙<ず 3. 26t 2. 75t	リート・陶磁器く ず(石膏ボード会 51.30t 51.30t ************************************	(廃タイヤ、発泡 スチロール会 23.96t 21.46t 廃石膏ボード 83.65t	88. 51t 88. 51t	(安定型、管理 72.06t 72.06t	棄物 1.86t 0.00t
美廃棄物の欠 ①現状	【前年度(令和 4 年度)実績】  産業廃棄物の種類 全処理委託量  優良認定処理業者への処理委託量  再生利用業者への処理委託量 認定熱回収業者への処理委託量 認定熱回収業者以外の熱回収を表表を表表を表表を表表を表表を表表を表表を表表を表表を表表を表表を表表を表表	リがら、廃アス 72 ルト レンガ 485. 49t 70. 21t 量 紙<ず 3. 26t 2. 75t	リート・陶磁器く ず(石膏ボード会 51.30t 51.30t ************************************	(廃タイヤ、発泡 スチロール会 23.96t 21.46t 廃石膏ボード 83.65t	88. 51t 88. 51t	(安定型、管理 72.06t 72.06t	棄物 1.86t 0.00t
	【前年度(令和 4 年度)実績】     産業廃棄物の種類     全処理委託量     優良認定処理業者への処理委託量     再生利用業者への処理委託量     認定熱回収業者以外の熱回収表 者 へ 処理委託量     産業廃棄物の種類     全処理委託量     産業廃棄物の種類     全処理委託量     産業廃棄物の種類     全処理委託量     産業廃棄物の種類     全処理委託量     では、変換の変換を受験である。     では、変換の変換を受験である。     では、変換の変換を受験である。     では、変換の変換を受験である。     では、変換の変換を受験である。     では、変換の変換を受験である。     では、変換の変換を受験である。     では、変換を受験である。     では、変換を受験である。     では、変換を受験を受験を受験を受験を受験を受験を受験を受験を受験を受験を受験を受験を受験を	リがら、廃アス ファルト レンガ 485. 49t 70. 21t 量 紙くず 3. 26t 2. 75t	リート・陶磁器く ず(石膏ボード会 51.30t 51.30t ************************************	(廃タイヤ、発泡 スチロール会 23.96t 21.46t 廃石膏ボード 83.65t	88. 51t 88. 51t	(安定型、管理 72.06t 72.06t	棄物 1.86t 0.00t
	【前年度(令和 4 年度)実績】  産業廃棄物の種類 全処理委託量  優良認定処理業者への処理委託量  再生利用業者への処理委託量 認定熱回収業者への処理委託量 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者へ処理委託量  産業廃棄物の種類 全処理委託量  優良認定処理業者への処理委託量  優良認定処理業者への処理委託量  認定熱回収業者への処理委託量  認定熱回収業者への処理委託量  認定熱回収業者への処理委託量  認定熱回収業者への処理委託量	リがら、廃アス ファルト レンガ 485. 49t 70. 21t 量 紙くず 3. 26t 2. 75t	リート・陶磁器く ず(石 意式 一 ド 全 51.30t 51.30t 51.30t 8.41t 8.13t	(廃タイヤ、発泡 スチロール会 23.96t 21.46t 廃石膏ボード 83.65t	88. 51t 88. 51t	(安定型、管理 72.06t 72.06t	棄物 1.86t 0.00t

	産業廃棄物の種類	がれき類(コンク リがら、廃アス ファルト・レンガ	ガラス・コンク リート・陶磁器く ず(石膏ボード含	廃プラスチック (廃タイヤ、発泡 スチロール含	金属くず	建設混合廃棄物 (安定型、管理型)	石綿含有産業 棄物
	全処理委託量	200. 00t	20.00t	10.00t	40. 00t	30.00t	1. 00t
	優良認定処理業者への処理委託量	70.00t	20.00t	10. 00t	40.00t	30.00t	1.00t
	再生利用業者への処理委託量						
	認定熱回収業者への処理委託量						
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者へ処理委託量						
	産業廃棄物の種類	紙くず	木くず	廃石膏ボード	0	0	0
	全処理委託量	3.00t	4.00t	20. 00t	0.00t	0.00t	0.00t
	優良認定処理業者への処理委託量	3.00t	4.00t	20.00t			
	再生利用業者への処理委託量						
②計画	認定熱回収業者への処理委託量						
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者へ処理委託量						
	(今後実施する予定の取組) 優良認定処理業者への委託を優先して						
	1						

## 備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が500トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
- (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における元請完成 工事高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規 模が分かるような前年度の実績を記入すること。
- (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの 一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間 処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処 理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を 記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令 第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施 設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である 処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への 焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が12以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。
  - また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「─」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

## 産業廃棄物処理計画書(産業廃棄物の実績及び計画の量)

			産業廃棄物の種類												
	処 理	事項		ガラス・コ ンクリート・ 陶磁器くず (石亭ボー		金属くず	建設混合 廃棄物(安定型、管理	石綿含有 産業廃棄 物	紙くず	木くず	廃石膏 ボード	0	0	0	合 計
HE H	抑制に関する事項	前年度排出量(実績)	485. 49t	51.30t	23.96t	88. 51t	72.06t	1.86t	3.26t	8.41t	83.65t	0.00t	0.00t	0.00t	818. 50t
191- 江	1が型に関りる事は	本年度排出量(計画)	200.00t	20.00t	10.00t	40.00t	30.00t	1.00t	3.00t	4.00t	20.00t	0.00t	0.00t	0.00t	328. 00t
	う行う(行った)		0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t
再生	E利用に関する事項	本年度計画(目標)	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t
自ら	自 ら 行 う う う う う う し 行 う し 行 っ た う し た う っ た う っ た う っ た う っ た う っ た う っ た う っ た う っ た う っ た う っ た う っ た う っ た う っ た う っ た う っ こ っ っ こ っ っ こ っ っ こ っ っ こ っ っ こ っ こ	前年度実績	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t
	った) 熱回収の量	本年度計画(目標)	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t
に関	する 目り甲間処理		0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t
事項	する(した)量	本年度計画(目標)	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t
	が行う(行った)埋立処 又 は 海 洋 投 <i>)</i>	前年度実績	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t
	分に関する事項	本年度計画(目標)	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t
	全処理委託量	前年度実績	485. 49t	51.30t	23. 96t	88.51t	72.06t	1.86t	3.26t	8.41t	83.65t	0.00t	0.00t	0.00t	818. 50t
処	上处任安北里	本年度計画(目標)	200.00t	20.00t	10.00t	40.00t	30.00t	1.00t	3.00t	4.00t	20.00t	0.00t	0.00t	0.00t	328. 00t
理	優良認定処理業者		70. 21t	51.30t	21. 46t	88.51t	72.06t	0.00t	2.75t	8. 13t	83.65t	0.00t	0.00t	0.00t	398.07t
の委	への処理委託量	本年度計画(目標)	70.00t	20.00t	10.00t	40.00t	30.00t	1.00t	3.00t	4.00t	20.00t	0.00t	0.00t	0.00t	198. 00t
託に	再生利用業者への	前年度実績	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t
関	処 理 委 託 量	本年度計画(目標)	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t
する	認定熱回収業者~		0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t
事	の処理委託量	本年度計画(目標)	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t
項	認定熱回収業者以外の熱回収な行う業者		0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t
	の熱回収を行う業者への処理委託量		0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t

## 【記載方法】

- ・ 各産業廃棄物の種類ごとに該当の箇所の上段に前年度の実績(現状)を、下段に本年度の目標(計画)の産業廃棄物の量を記載してください。
- 「自ら行う再生利用に関する事項」の欄は、自ら直接再生利用した量と中間処理した後再生利用した量を記載してください。
- ・ 「自ら行う埋立処分又は海洋投入処分に関する事項」は、自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量と自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量を 記載してください。
- ・ 「処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量及びそれぞれの内訳を記載してください。